

ブラシレスモータドライバの設計事例

商品企画 2 ～0次製品仕様の策定～

前章の工程「マーケティング分析」にて抽出された情報に基づき、開発する製品の具
体仕様を策定して行く事になります。

0次製品仕様の立案

開発する製品の目標仕様を抽出します。

可能な限り、具体的に数値化し

製品設計仕様書（0次）として整理してまとめます。

●使用目的

まず、製品の使われ方のイメージを固め、明確化します。

⇒具体的にブラシレスモータを使用して何を行うのか？

⇒ターゲットモータの構造、特長、スペックを明確化

⇒機械的ターゲットシステムの設計構築

●使用方法

製品としての必要機能と各スペックを決定し数値化します。また、平行して必要な要
素技術と使用部品の策定も始めます。

⇒使用する際に必要な機能は？

⇒使用環境（温度、湿度、気圧など）は明確か？

⇒電氣的制御システムの設計構築

⇒電氣的スペック値、数値の仮目標決め

⇒物理構造、外形寸法、材料、重量などの吟味

●その他

⇒要素技術、設計技術、ノウハウは保有技術で賄えるか（他者の協力を仰ぐか）？

⇒他者の知的財産権の侵害に抵触しないか（特許調査）？

⇒遵守すべき法令は？

以上の基本メソッド（ルール）に従って0次製品仕様書を完成させていきます。

次章では、具体的な目標仕様に対して0次製品仕様書を作成（設計）した例を紹介します。